

# 令和5年度 事業報告

## I. 事業概要

公益財団法人滋賀県文化財保護協会（以下「協会」という。）は、歴史上・学術上価値の高い滋賀県の文化財を調査・研究するとともに、それらを文化資産として保護・活用をはかることによって、我が国の文化の向上に寄与してきた。

令和5年度は、国や県の情報収集に努め、「コロナ禍」が下火になったとはいえ、引き続き各施設や現場での感染予防対策のもと、状況に応じて適切に対応した。

発掘調査事業では、県の土木交通部および農政水産部等の公共事業に伴う発掘調査および整理調査に取り組むとともに、市町の大規模調査事業の支援への対応にも努め、発掘調査および整理調査を受託した。

また、令和5年度から発掘調査事業の事務手続きが直接契約へ移行されたことから、円滑に事業が進むよう県文化財保護課や県土木交通部・県農政水産部等との調整に努めた。

なお、年度途中での埋蔵文化財技師等の退職にも迅速に対応して補充に努め、体制の維持を図った。

普及啓発事業では、これまで協会に蓄積された技術職員の経験やノウハウ等を活かして市町等に積極的なマネジメント、運営、広報を行い、連続講座のオンラインの活用等、引き続き積極的な情報発信および主体的事業の実施に努めた。

滋賀県立施設管理運営業務では、滋賀県立安土城考古博物館（以下「安土城考古博物館」という。）の指定管理業務（令和3年度～令和7年度）を受託し、指定管理計画に基づき、3年目の管理運営事業等を実施した。

また、滋賀県立琵琶湖文化館（以下「琵琶湖文化館」という。）・滋賀県埋蔵文化財センター（以下、「埋蔵文化財センター」という。）の業務を受託し、円滑に管理運営事業等を実施した。

## II. 協会運営

### 1. 役員会議等の開催

①決算監査	令和5年 5月 22日 (月)
②第1回定例理事会	令和5年 5月 30日 (火)
③定時評議員会	令和5年 6月 23日 (金)
④第2回定例理事会	令和5年 9月 8日 (金)
⑤第3回定例理事会	令和5年 12月 12日 (火)
⑥第4回定例理事会	令和6年 3月 18日 (月)

## 2. 管理事務

令和5年3月に策定した『第六次中期計画』（令和5年度～令和9年度）の初年度にあたる。本計画は、協会の将来を見据えた経営の指針であり、経営に関する基本計画であるとともにアクションプラン（行動計画）として位置づけるものである。「文化財を通した豊かな滋賀づくりへの貢献」を基本理念にした事業方針を設定し、実現に向けて取り組みを行った。

### Ⅲ. 企画事業ならびに文化財に係る普及啓発事業

- (イ) 市町からの受託により実施した地域計画策定支援事業の経験を最大限に活かし、県・市町や民間事業者、大学等をはじめとする地域の多様な主体との積極的な連携を推進し、必要不可欠なパートナーとして認められていくこと
  - (ロ) 滋賀県立美術館や滋賀県立図書館との相互補完を進め、『びわこ文化公園』が持つ総合的機能を活かした連携事業をさらに展開すること
  - (ハ) 積極的な情報発信事業によって、文化財を通した豊かな滋賀づくりに貢献していくこと
- を基本方針として事業を実施した。

#### 1. 多様な主体との「つながり」促進事業

##### (1) 連携の起点創出事業

###### ①「文化財保存活用地域計画」学習会の企画・実施 [中期計画 2-1-(1) 対応]

第1回 9/15 米原市と連携して実施。

市町関係者（栗東市・近江八幡市・長浜市・東近江市・多賀町・米原市）、京都橘大学教員・学生等が参加し、米原市の保存活用地域計画の課題を検討した（参加者 14 名）。

第2回 11/17 栗東市と連携して実施。

市町関係者（草津市・栗東市・近江八幡市・米原市）、京都橘大学と愛媛大学の教員・学生、ならびに報道関係者（共同通信社記者）が参加し、栗東市の保存活用地域計画の課題を検討した（参加者 16 名）。

第3回 12/8 令和 5 年度の学習会の総括を兼ねて実施。

市町関係者（草津市・栗東市・米原市）、愛媛大学学生、京都橘大学教員・学生、ならびに報道関係者（共同通信社記者 2 名）等が参加し、保存活用地域計画に関する滋賀県内の諸問題を検討した（参加者 17 名）。

###### ②地域の文化財の保存活用事業掘り起こし [中期計画 2-3-(1) 対応]

5 月・9 月・1 月に、守山・草津・栗東・近江八幡・米原・日野・多賀の各市町の担当者から課題の聴き取りを行い、草津市・守山市からの次年度新規事業（活用事業）の受託に結び付けた。

##### (2) 連携事業の実践

###### ③滋賀県との連携事業

###### i ) 文化財活用事業の受託 [中期計画 3-2-(1) 対応]

文化財活用事業の受託等協力・連携の可能性を模索した。

###### ii ) 体験学習の受託・実施（埋蔵文化財センター含む） [中期計画 3-2-(3) 対応]

埋蔵文化財センターが、新型コロナウイルス感染拡大のために規模を縮小しながら、勾玉制作体験、染物体験、鑄造体験を夏休み期間中に実施したので、受付事務等をバックアップした。

#### ④市町との連携事業

[中期計画 2-1-(1)対応]

##### i ) 連続講座のサテライト開催（年8回）

後述する⑫連続講座のサテライト開催を多賀町と連携し、計画通り8回実施した。

##### ii ) 体験学習の受託

草津市から鍛造体験を事業受託し、11/18に実施した。

##### iii) 多賀町からの『多賀の魅力発信リーフレット』関連事業の受託

多賀町から、平成30年度に作成した多賀町内の歴史文化遺産を紹介した「多賀の国の物語」1～4のリーフレットの増刷を受託し、6/6に納品した。

#### ⑤びわこ文化公園3館連携事業

[中期計画 3-5-(1)対応]

##### i ) 県立美術館・県立図書館と共同した連携講演会等の開催

9/2に講演会「ヒトと自然のかかわりから見た近江瀬田丘陵の歴史的特性」を美術館で開催した（参加者83名）。

10/8にワークショップ「さわるを楽しむ&学ぶ」を美術館で共同開催（参加者40名）。

##### ii ) 連携展示の実施

大津市・草津市とも連携しながら、7/22～11/12に、埋蔵文化財センターのロビーにて埋蔵文化財地域展V「人と自然—瀬田丘陵の開発史」を開催し、広報等において3館で連携した（見学者2,680名）。

#### ⑥県シルバー人材センター連合会との連携事業

[中期計画 2-1-(2)対応]

##### i ) 遺跡発掘技能講習への講師派遣

第1回（9月）、第2回（10月）を実施。各6日間で、のべ30名が修了した。

##### ii ) 歴史文化遺産ガイド育成講座（初・中級）の受託

初級編（6月／10名）・中級編（8・9月／28名）を各5日間で実施した。

#### ⑦滋賀リビング新聞社との連携事業

[中期計画 2-1-(2)対応]

##### i ) 滋賀リビングカルチャー倶楽部への出講

浜大津会場で「近江発掘－1万3千年前から今」をテーマに、4月から毎月2回実施した（全24回 受講者数のべ186名）。

##### ii ) 夏休みの体験講座の開催

8/6、夏休みの自由研究のサポートとして、遺跡出土の動物骨格等の解説+実物（コイ）の標本づくりを県埋蔵文化財センターで実施した（参加者8名）。

##### iii) 滋賀リビング新聞への取材協力

4/5に膳所城下町取材への協力（5/20号掲載）。4/27に小谷城取材への協力（10/28号掲載）。

#### ⑧平和堂旅行センターとの連携

[中期計画 2-1-(2)対応]

##### i ) 連続講座のサテライト開催（年8回）

後述する⑫連続講座のサテライト開催を平和堂旅行センターと連携し、計画通り8回実施した。

##### ii ) 文化財講座と連携したバスツアーの開催

夏休み親子向けツアーを共同企画したが、申込数不足で催行できなかった。

iii) 歴史文化遺産ガイド育成講座修了生の企画提案

計画見直しに伴い、令和5年度における企画提案受付については中止し、3月に新年度からの提案受付を修了生に向けて声掛けした。

**⑨大学との連携事業**

[中期計画 2-1-(3) 対応]

i) 調査補助員としての受け入れ

A 5~10月に、2大学（滋賀県立大学・京都橘大学）の文化財専門職を目指す大学4回生～大学院生4名を調査事業で受け入れた。

B 夏期休暇期間中に、7大学（滋賀県立大学・京都橘大学・同志社大学・立命館大学・龍谷大学・奈良大学・大正大学）の専攻生を、調査事業と活用事業（⑤のiiの連携展示の解説等）に28名受け入れた。

C 春期休暇期間中に、4大学（滋賀県立大学・京都橘大学・同志社大学・大正大学）の専攻生を、調査事業に16名受け入れた。

ii) 大学が実施する教育人材育成での連携

A 専攻生のインターンシップ受け入れ：京都橘大学から3名受入（8/7~11）。

B 高校との3者連携事業：県高校社会科教育研究会から研修を受託し、滋賀県立大学と連携して実施した（10/12）。試験的事業として、県立東大津高校の教員・生徒20名を対象にロビー展示解説を実施した（10/7）。

C 講義、人材養成事業等講師派遣：京都橘大学歴史遺産学実習受託（15コマ）

D 調査技術等相互研修の実施：京都橘大学から協会連続講座への出講を調整。ほか、滋賀県立大学のオープンキャンパスへの協力（7/22・23）、滋賀県立大学の環琵琶湖実習の受け入れ20名（8/9）を実施した。

**（3）連携を支える人材の育成事業**

**⑩外部の人材育成事業**

[中期計画 1 A-1-(1)・3-2-(3) 対応]

歴史文化遺産ガイド育成講座の企画・開催

県シルバー人材センター連合会から受託した歴史文化遺産ガイド育成講座（初・中級）[上記（2）の⑥のii]からのステップアップ講座に相当する「上級」編講座を11月に5日間実施した（受講者23名）。

**2. 情報発信事業**

**⑪ホームページよみものコンテンツの更新**

[中期計画 3-2-(4) 対応]

実施した文化財情報発信事業の内容等をブログ等で発信した。職員が分担執筆する形で、「調査員の逸品」・「新近江名所図会」・「インタビュー／私の履歴書」を掲載・更新した。

**⑫連続講座の企画実践**

[中期計画 1 D-3-(1)・3-2-(2) 対応]

調査員が直接携わってきた調査・研究成果をテーマとした講座を6月から1月にかけて実施した。滋賀県埋蔵文化財センター研修室（定員40名）を本会場とし、オンラインでのライブ中継を取り入れ、サテライト会場となる安土城考古

博物館（20名）と関東圏等も含めた自宅受講者（66名）を繋いで実施した。

また、大学との連携事業として滋賀県立大学と京都橘大学の専攻生（12名）、市町・民間事業者との連携事業として多賀町文化財センター（8名）ならびに平和堂石山店（18名）にもオンラインで講座を繋いで実施した。

### ⑬協会の取り組みの外部発信

i) 情報発信推進委員会の開催 [中期計画3-1-(1)・(2)対応]

情報発信の推進により事業成果の社会還元を徹底することで、協会の使命である「文化財を通した豊かな滋賀づくり」の実現と、それによる協会の社会的存在価値向上を目指して5月から毎月実施し、内部連携の強化、SNS・ノベルティーの活用等について検討した。

ii) ホームページの管理・運営 [中期計画3-4-(2)・(3)対応]

昨年度、セキュリティの強化、安定度向上、見やすさの向上を目指して実施したホームページのリニューアル完了を受け、その後に必要となっている、微調整・修正を含めた保守のプロセスを実施した。

iii) 文化財行事案内（DM）等の発送 [中期計画3-2-(6)対応]

市町・民間企業主催の事業案内も含め、年4回（6月末・9月末・12月末・3月末）発送した。

iv) 協会事業広報媒体の作成と発信 [中期計画3-2-(7)対応]

A 機関誌「おうみ文化財通信」の刊行：7/1付けの夏号（vol. 56）、10/1付の秋号（vol. 57）、1/1付の冬号（vol. 58）、4/1日付けの春号（vol. 59）を刊行した。

B 協会ホームページ案内ミニカードの配布：200枚を印刷して、文化財専門職を志望する専攻生約80名に配布し、また県埋蔵文化財センターに配置した。

v) 協会事業の動画配信 [中期計画3-2-(8)対応]

動画編集の手順案を作成・整理し、効率的に動画配信できる状況整備を進めた。

vi) 紀要の刊行 [中期計画1D-3-(4)対応]

3月末に37号を刊行した。

vii) そのほか

A 「レトロ・レトロの展覧会」の開催：特別陳列「高島市朽木陣屋跡の発掘成果速報」を12/11（月）～3/29（金）に開催した（見学者289名）。

B 「あの遺跡は今！2023」の開催：新型コロナウイルス感染拡大に留意したうえで、安土分室整理室を主会場として、夏休み期間中の7/29（土）・7/30（日）に開催し、展示ならびに安土分室における調査作業内容の解説を実施した（見学者384名）。

## IV. 埋蔵文化財発掘・整理調査事業

令和5年度に実施した発掘調査件数は13件（令和4年度：14件）、整理調査は13件（令和4年度：17件）の計26件（令和4年度：31件）である。調査面積は58,878.09m<sup>2</sup>（令和4年度：30,231.34m<sup>2</sup>）で、前年度調査面積比194.48%である。

契約件数による事業別では、発掘調査では県土木交通部7件・県農政水産部2件・市町関係4件（大津市1件・守山市3件）の事業を実施した。

整理調査では、国土交通省4件、県道路公社1件、県土木交通部4件、県農政水産部1件、市町関係3件（彦根市・大津市・愛知県豊田市）の事業を実施した。また、発掘調査報告書（表2参照）については4冊を刊行し、関係機関等へ配布した。

なお、発掘調査に係る現地説明会・調査報告会については、令和5年度についても新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策を十分に講じたうえで開催した（表1参照）。

### 1. 発掘調査事業（図1・表3参照）

#### （1）御館前遺跡（近江八幡市、県土木交通部事業、5,705.47m<sup>2</sup>）

近江八幡竜王線道路整備事業に伴う調査（令和4年度から継続）。調査対象範囲全域で古墳時代の竪穴建物8棟・溝4条、飛鳥時代の掘立柱建物6棟、鎌倉時代の掘立柱建物7棟・土坑墓4基・井戸4基等を検出し、それらに伴い土器類（土師器・須恵器・黒色土器等）や石製品等が出土した。

#### （2）太田遺跡ほか（野洲市、県土木交通部事業、15,015.9m<sup>2</sup>）

県道近江八幡守山線補助道路整備工事（木部工区）に伴う調査（令和4年度から継続）。調査対象範囲のほぼ全域にて、鎌倉時代～室町時代の溝、奈良時代の溝・自然流路・土坑を検出した。おもな出土遺物として、鎌倉時代～室町時代の遺構から土師器皿や陶器皿等が、奈良時代の遺構から須恵器・土師器・木製品（鉄製鎌の柄・曲物の底板等）が出土した。

#### （3）六地蔵遺跡（栗東市、県土木交通部事業、2,149.6m<sup>2</sup>）

県道栗東信楽線道路整備事業に伴う調査。古墳時代の竪穴建物5基を検出し、そのうちの2基には造り付けカマドが付設されていた。そのほか、土坑・溝・小穴群等を検出した。それらに伴い土器類が出土した。

#### （4）大門池南遺跡（多賀町、県土木交通部事業、2,503m<sup>2</sup>）

県道佐目敏満寺線補助道路整備工事に伴う調査。調査対象範囲の北半において、室町時代頃の火葬を伴う埋葬遺構を5基検出し、当該期の銅錢や土器、鉄製品が出土した。中央付近から南半では竪穴建物1棟・溝2条や小穴列を検出したが、時代を知り得る遺物は出土しなかった。

**(5) 阿弥陀寺遺跡** (近江八幡市、県土木交通部事業、1,933.4 m<sup>2</sup>)

堂川補助通常砂防工事に伴う調査。参道を中心としてその両脇に平坦面が雛壇状に連なり、法面にはそれを支える石積・石垣を検出した。石垣の切り合い関係や出土遺物の年代観等から、15世紀末を遡る時期から石積・石垣を構築し始めていたことが判明した。

**(6) 福林寺古墳群** (野洲市、県土木交通部事業、225 m<sup>2</sup>)

中ノ池川支流補助通常砂防(総流防)工事に伴う調査。古墳の解体調査を実施した結果、福林寺3号墳は墳丘径約10mの円墳であることが判明した。墳丘盛土内から古墳時代後期の須恵器・土師器が、古墳築造後に墳丘上に堆積した土砂中からは中世の土師器がそれぞれ出土した。

**(7) 江頭南遺跡** (近江八幡市、県土木交通部事業、448.205 m<sup>2</sup>)

日野川広域河川改修事業に伴う調査。調査対象範囲にて、古墳時代中期後半から後期前半の築造とみられる墳丘を検出し、埴輪列が出土した。墳丘の大半は河川の浸食により消失していたが、埴輪の配置状況から前方後円墳であったことが明らかとなつた。

**(8) 高野遺跡** (栗東市、県農政水産部事業、1,110 m<sup>2</sup>)

県営ほ場整備事業六地蔵地区ほ場整備に伴う調査。六地蔵遺跡の北半部で調査を実施し、竪穴建物・掘立柱建物・溝・古墳等の遺構を検出した。それらに伴い古墳時代前期・後期頃の土器・石製品等が出土した。

**(9) 六地蔵遺跡** (栗東市、県農政水産部事業、6,052.56 m<sup>2</sup>)

県営ほ場整備事業六地蔵地区ほ場整備に伴う調査。調査対象範囲全域にわたって、古墳・溝・旧河道等の遺構を検出した。それらに伴って土器・石製品等の遺物が出土した。古墳は14基を検出し、その年代は古墳時代前期から後期初頭にわたる。

**(10) 南滋賀遺跡** (大津市、民間宅地造成事業、617.85 m<sup>2</sup>)

民間宅地造成事業に伴う調査。自然流路や溝、柱列、小穴等の遺構を検出した。自然流路を中心として、古墳時代後期の土器類や木製品が出土した。

**(11) 横江遺跡(その1)** (守山市、工業団地開発計画事業、6,701.1 m<sup>2</sup>)

工業団地開発計画事業に伴う調査。調査対象範囲の南側では古墳時代を主体とする遺構群(掘立柱建物・溝等)を、同じく北側においては、平安時代末期～鎌倉時代にかけての遺物を多量に含む谷状地形を確認した。

**(12) 横江遺跡（その2）**（守山市、工業団地開発計画事業、14,456 m<sup>2</sup>）

工業団地開発計画事業に伴う調査。古墳時代を中心時期とする掘立柱建物・自然流路・溝群・土坑等に加え、平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物・溝・土坑墓等を検出した。それらに伴い土器類（土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等）、木製品（農具等）、石製品（石鏸・砥石等）、金属製品（鉄鏸等）が出土。

**(13) 笠原南遺跡・狐山古墳**（守山市、事業用地造成事業、1,960 m<sup>2</sup>）

事業用地造成に伴う試掘調査。事業用地内に笠原南遺跡・狐山古墳と2ヵ所の周知の埋蔵文化財包蔵地が所在するが、うち狐山古墳周辺部について試掘を実施したところ、明確な墳丘・周濠等は確認できなかった。

- (1) 御館前遺跡
- (2) 太田遺跡ほか
- (3) 六地蔵遺跡
- (4) 大門池南遺跡
- (5) 阿弥陀寺遺跡
- (6) 福林寺古墳群
- (7) 江頭南遺跡
- (8) 高野遺跡
- (9) 六地蔵遺跡
- (10) 南滋賀遺跡
- (11) 横江遺跡（その1）
- (12) 横江遺跡（その2）
- (13) 笠原南遺跡・狐山古墳

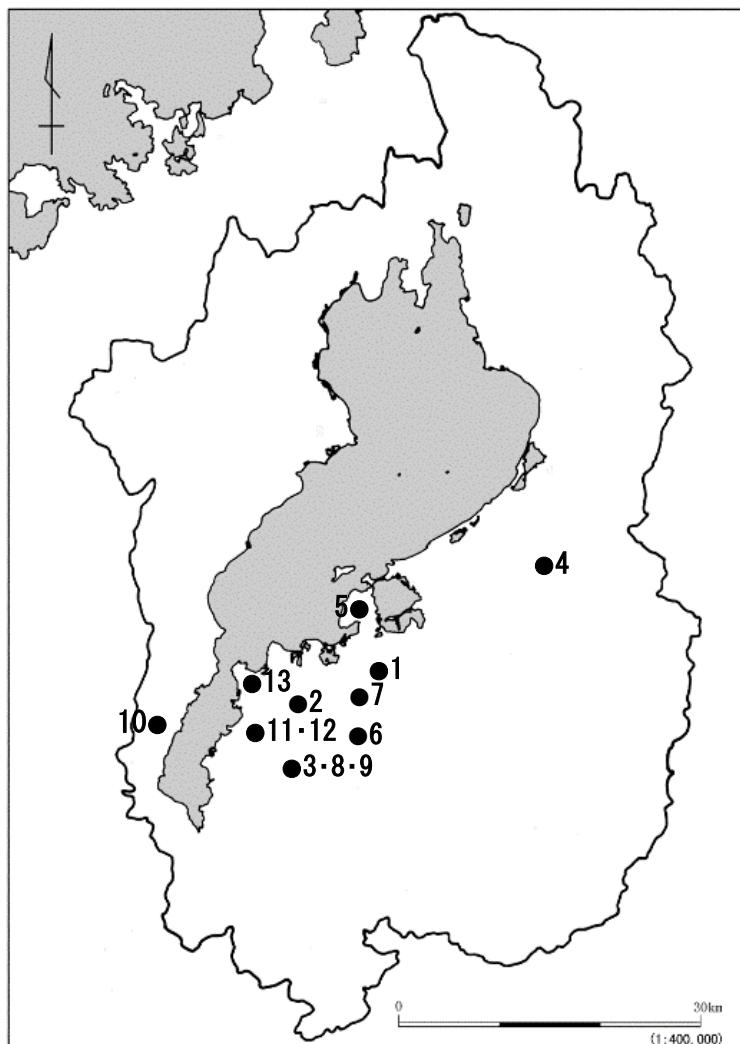


図1 令和5年度発掘調査遺跡の位置

## 2. 整理調査事業（表3参照）

### （1）国土交通省事業

上砥山遺跡、出庭遺跡・手原遺跡、佐和山城跡、惣山・京ヶ山遺跡の整理調査を行った。

### （2）県土木交通部事業

湯ノ部遺跡ほか、里西遺跡、朽木陣屋跡（道路整備課）、蜂屋遺跡（流域政策局）の整理調査を行い、湯ノ部遺跡ほかの発掘調査報告書を刊行した。

### （3）県農政水産部事業

高野遺跡（耕地課）の整理調査を行った。

### （4）県道路公社事業

大野遺跡・普門南遺跡の整理調査を行い、発掘調査報告書を刊行した。

### （5）市町等事業

矢作川河床埋没林保存処理（豊田市）、福満遺跡（彦根市）、南滋賀遺跡（大津市）の整理調査を行い、福満遺跡・南滋賀遺跡2遺跡の発掘調査報告書を刊行した。

表1 令和5年度 発掘調査に係る現地説明会・調査報告会、報道発表等の開催実績

公開日	参加人数	遺 跡 名	所在地	公開・発表 の方法	場 所	備 考 (対象者等)
7月9日(日)	35人	御館前遺跡	近江八幡市	地元説明会	現地	地元
9月3日(日)	130人	御館前遺跡	近江八幡市	現地説明会	現地	一般
10月8日(日)	110人	阿弥陀寺遺跡	近江八幡市	現地説明会	現地	一般
11月23日(木)	143人	六地蔵遺跡	栗東市	現地説明会	現地	一般
説明会 小計(a)	418人					
12月11日(月) ～3月29日(金)	289人	レトロ・レトロの展覧会 2023 特別陳列 「幻の朽木城を探る～ 朽木陣屋以前の姿～」	高島市	遺物展示	埋蔵文化財センター	一般
7月29日(土) ～7月30日(日)	384人	あの遺跡は今！Part30 「整理室へようこそ!! 見 て 感じて 考古学」	栗東市・ 彦根市 ほか	遺物展示・ 作業内容公開	安土城考古博物館 整理室	一般
展示会 小計(b)	673人					
合計(a+b)	1,091人					
2月20日(火)		里西遺跡	大津市	記者発表	埋蔵文化財センター	一般
3月7日(木)		江頭南遺跡	近江八幡市	記者発表	埋蔵文化財センター	一般

表2 令和5年度刊行の発掘調査報告書一覧

報告書名	所在地	事業者	内容
滋賀県文化財保護協会調査報告 第1集 野洲市 西河原宮ノ内遺跡 比留田法田遺跡 湯ノ部遺跡	野洲市	県土木交通部	飛鳥時代～奈良時代の西河原宮ノ内遺跡では、木簡6点をはじめ転用硯が15点出土するなど官衙的様相が観取できる。 鎌倉時代以降は調査地全体に亘り耕作溝が検出され、現代に通じる条里地割の耕作地が成立した。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第2集 大津市 大野遺跡・普門南遺跡	大津市	滋賀県道路公社	真野川下流域での古墳時代前期末～中期前葉の集落は新規発見であり、特に検出された堅穴建物の1棟は祭祀に伴う可能性がある。
滋賀県文化財保護協会調査報告 第3集 大津市 南滋賀遺跡	大津市	(株)高栄示一ム	自然流路・溝・杭列・土坑等が検出され、自然流路を中心として多数の遺物が出土した。 調査地の周辺では古墳時代～飛鳥時代に活発な土地利用がなされていたことが明らかとなった。
彦根市埋蔵文化財調査報告書 第91集 福満遺跡（第23次） プロシードアリーナHIKONE建設工事に 伴う発掘調査報告書	彦根市	彦根市	縄文時代晚期～鎌倉時代各期にかけての遺構・遺物を検出。古墳時代後期以降集落が拡大していく傾向が確認され、また、飛鳥時代以降になると掘立柱建物を主体とする建物群に移行することが明らかとなった。

表3 令和5年度 埋蔵文化財調査事業一覧

1. 発掘調査事業

No.	契約番号	遺跡名	調査面積 (m <sup>2</sup> )	検出されたおもな遺構と時期
県土木交通部道路整備課事業				
1	712	御館前遺跡	5,705.470	調査対象範囲全域にて古墳時代の竪穴建物8棟・溝4条、飛鳥時代の掘立柱建物6棟、鎌倉時代の掘立柱建物7棟・土坑墓4基・井戸4基等を検出し、それに伴い土器類(土師器・須恵器・黒色土器等)や石製品等が出土。
2	713	太田遺跡ほか	15,015.900	調査対象範囲のほぼ全域にて、鎌倉時代～室町時代の溝、奈良時代の溝・自然流路・土坑を検出。鎌倉時代～室町時代の遺構からは土師器皿や陶器皿等が、奈良時代の遺構からは須恵器・土師器・木製品(鉄製鎌の柄・曲物の底板等)が出土。
3	721	六地蔵遺跡	2,149.600	古墳時代の竪穴建物5基を検出し、そのうちの2基には造り付けカマドが付設されていた。そのほか、土坑・溝・小穴群等を検出した。また、それらに伴い土器類が出土した。
4	722	大門池南遺跡	2,503.000	調査の結果、室町時代頃の火葬を伴う埋葬遺構を5基検出し、当該期の銅錢や土器・鉄製品が出土。中央付近から南半では竪穴建物1棟・溝2条や小穴列を検出したが、時代を知り得る遺物は出土していない。
県土木交通部砂防課事業				
5	711	阿弥陀寺遺跡	1,933.400	参道を中心としてその両脇に平坦面が離壇状に連なり、法面にはそれを支える石積・石垣を検出した。石垣の切り合い関係や出土遺物の年代観等から、15世紀末を遡る時期から石積・石垣を構築し始めていたことが判明した。
6	724	福林寺古墳群	225.000	古墳の解体調査を実施した結果、福林寺3号墳は墳丘径約10mの円墳であることが判明した。墳丘盛土内から古墳時代後期の須恵器・土師器が、古墳築造後に墳丘上に堆積した土砂中からは中世の土師器がそれぞれ出土した。
県土木交通部流域政策局事業				
7	723	江頭南遺跡	448.205	調査対象範囲にて、古墳時代中期後半～後期前半の築造とみられる墳丘を検出し、埴輪列が出土。墳丘の大半は河川の浸食により消失していたが、埴輪の配置状況から前方後円墳であったことが明らかとなった。
県農政水産部耕地課事業				
8	714	高野遺跡	1,110.000	六地蔵遺跡の北半部で調査を実施し、竪穴建物・掘立柱建物・溝・古墳等の遺構を検出した。それらに伴って古墳時代前期～後期頃の土器・石製品等の遺物が出土。
9	717	六地蔵遺跡	6,052.560	調査対象範囲にて、古墳・溝・旧河道等の遺構を検出した。古墳は14基を検出し、その年代は古墳時代前期～後期初頭に亘る。それらに伴い土器・石製品等の遺物が出土。
市町関係事業				
10	701	南滋賀遺跡	617.850	民間宅地開発に伴う調査。古墳時代後期～飛鳥時代にかけての自然流路・溝・杭列・土坑等を検出。
11	715	横江遺跡(その1)	6,701.100	調査区の南側では古墳時代を主体とする遺構群(掘立柱建物・溝等)を、同じく北側においては、平安時代末期～鎌倉時代にかけての遺物を多量に含む谷状地形を確認した。
12	716	横江遺跡(その2)	14,456.000	古墳時代を中心とする掘立柱建物・自然流路・溝群・土坑等に加え、平安時代後期～鎌倉時代の掘立柱建物・溝・土坑墓等を検出。それらに伴い土器類(土師器・須恵器・黒色土器・陶磁器等)、木製品(農具等)、石製品(石鎚・砥石等)、金属製品(鉄鎌等)が出土。
13	725	笠原南遺跡・狐山古墳	1,960.000	事業用地造成に伴う試掘調査。事業用地内に笠原南遺跡・狐山古墳2ヵ所の周知の埋蔵文化財包蔵地が所在するが、うち狐山古墳周辺部について試掘を実施したところ、明確な墳丘・周濠等は確認できなかった。
計			58,878.090	

## 2. 整理調査事業

No.	契約番号	遺跡名	発掘年度	報告書	検出されたおもな遺構と時期
<b>国土交通省事業</b>					
1	702	上砥山遺跡	H30～R2		飛鳥時代～奈良時代の河道や掘立柱建物等を確認。土師器・須恵器等の多量の土器や土馬、琴柱・馬鍤・堅杵・木皿・木錘等の木製品のほか、木簡や墨書き土器等の文字資料や硯も出土。
2	703	出庭遺跡・手原遺跡	H30・R1～4		古墳時代の堅穴建物（前期の鍛冶工房跡含む）・旧河道・掘立柱建物・井戸等を検出、それらに伴い土師器・須恵器・韓式系土器等の土器や、鉄器・鍛冶滓・玉類・砥石等が出土。
3	704	佐和山城跡	H30・R1～4		佐和山城の内堀・土塁のほか、城下町に関連する橋台遺構・掘立柱建物・井戸・土坑等を検出。それらに伴い16世紀後半の土器・陶磁器、木器・金属器・石造品等が出土。
4	705	物山・京ヶ山遺跡	R1・2		弥生時代後期の堅穴建物、古墳時代後期の横穴式石室等を検出。横穴式石室は出土遺物から、6世紀後半～7世紀初頭頃に築造。
<b>県土木交通部道路整備課事業</b>					
5	706	湯ノ部遺跡ほか	H13・14・16・17・18・19	○	湯ノ部遺跡では弥生時代前～中期の溝・土坑・方形周溝墓等を検出、西河原宮ノ内遺跡では飛鳥時代～奈良時代の掘立柱建物・柵列等とともに木簡等が出土。比留田法田遺跡では飛鳥時代の南北溝のほか、中近世の条里溝等も検出。
6	710	里西遺跡	R2～4		縄文時代～室町時代にかけての遺構・遺物を確認。特に、鎌倉時代から室町時代にかけての集落に関する遺構は密度高く分布し、掘立柱建物・土坑墓・井戸・溝・土坑等を検出。この他、弥生時代後期の多角形堅穴建物、飛鳥時代の溝、古代の掘立柱建物等も確認。
7	719	朽木陣屋跡	R4		江戸時代の朽木陣屋を構成する堀・道路（登城道）・石列を確認したほか、室町時代の土坑を確認。それらに伴い、土師器・陶器・縄文土器等のほか、打製石斧等の石器類、銭貨等の金属製品が出土。
<b>県土木交通部流域政策局事業</b>					
8	707	蜂屋遺跡	H28～R1		古墳時代前・中期の旧河道、平安時代末～鎌倉時代初頭の屋敷地を区画する溝、室町時代後期から安土桃山時代の井戸・土坑・河川、江戸時代中期の井戸・溝・土坑等、多数の遺構を検出。法隆寺式軒瓦等、奈良時代の「蜂屋廃寺」関連遺物も出土。
<b>県農政水産部耕地課事業</b>					
9	709	高野遺跡	H30・R1～3		古墳時代の堅穴建物、奈良時代～平安時代の掘立柱建物・東海道、平安時代の金属生産に関わる可能性のある炉状遺構のほか、溝・土坑・小穴が検出され、それらに伴い土器類（土師器・須恵器・灰釉陶器・綠釉陶器・黒色土器・陶器・瓦）、石製品（砥石）、金属製品（刀子・釘・金属滓）が出土。
<b>県道路公社事業</b>					
10	708	大野遺跡・普門南遺跡	R2・3	○	古墳時代の堅穴建物・旧河道・溝、平安時代の掘立柱建物・土器埋納遺構等を検出。それらに伴い、土器（土師器・須恵器・白磁等）、木製品（下駄・木材等）、石製品（石鎌・剥片）が出土。
<b>市町関係事業</b>					
11	718	矢作川河床埋没林保存処理（豊田市）			愛知県豊田市・岡崎市境を流れる矢作川の河床から採取された埋没林2点（クリ・ムクノキ）の保存処理を実施。具体的な処理内容としては燻蒸、クリーニング、修復・復元の各工程を行った。
12	720	福満遺跡（彦根市）	H29・30	○	縄文時代後期の旧河道、古墳時代～奈良時代にかけての堅穴建物・掘立柱建物、平安時代の井戸等を検出。
13	750	南滋賀遺跡（大津市）	R5	○	古墳時代後期～飛鳥時代にかけての自然流路・溝・杭列・土坑等を検出。自然流路中からは土器類とともに壺鑑・鼠返し等の木製品も出土。

表4 令和5年度文化財関係調査受託事業一覧表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

契約番号	受託事業名	区分	原因者	契約額(税抜)	うち人件費	うち事務費
	(国土交通省関係)					
702	上砥山遺跡	整理	滋賀国道事務所	15,616,000	11,528,483	3,935,393
703	出庭遺跡・手原遺跡	整理	滋賀国道事務所	17,921,000	13,087,918	4,467,292
704	佐和山城跡	整理	滋賀国道事務所	9,016,000	6,633,864	2,272,240
705	惣山・京ヶ山遺跡	整理	滋賀国道事務所	4,803,000	3,503,250	1,210,520
	4		小計	47,356,000	34,753,515	11,885,445
	(県道路公社)					
708	大野遺跡、普門南遺跡	整理	滋賀県道路公社	3,216,000	1,357,135	750,420
	1		小計	3,216,000	1,357,135	750,420
	(県土木交通部関係)					
706	湯ノ部遺跡ほか	整理	南部土木事務所	3,131,000	1,134,564	789,136
707	蜂屋遺跡	整理	南部土木事務所	23,214,000	16,215,126	5,764,301
710	里西遺跡	整理	大津土木事務所	15,609,000	11,286,183	3,934,153
711	阿弥陀寺遺跡	発掘	東近江土木事務所	39,437,000	13,682,312	8,185,193
712	御館前遺跡	発掘	東近江土木事務所	48,505,000	18,163,643	9,802,195
713	太田遺跡ほか	発掘	南部土木事務所	58,346,000	19,875,408	12,490,967
719	朽木陣屋跡	整理	高島土木事務所	1,406,000	1,011,400	354,220
721	六地蔵遺跡	発掘	南部土木事務所	19,420,000	6,728,086	4,041,572
722	大門池南遺跡	発掘	湖東土木事務所	9,360,000	3,255,049	1,987,996
723	江頭南遺跡	発掘	東近江土木事務所	11,861,000	5,102,564	2,756,552
724	福林寺古墳群	発掘	南部土木事務所	10,956,000	3,609,642	2,165,477
	11		小計	241,245,000	100,063,977	52,271,762
	(県農政水産部関係)					
709	高野遺跡	整理	大津・南部農業農村振興事務所	13,021,000	8,330,439	2,954,923
714	高野遺跡	発掘	大津・南部農業農村振興事務所	7,086,000	2,910,096	1,301,002
717	六地蔵遺跡	発掘	大津・南部農業農村振興事務所	60,765,000	19,934,960	12,334,610
	3		小計	80,872,000	31,175,495	16,590,535
	(市町等関係)					
701	南滋賀遺跡	発掘	大津市・高栄ホーム	3,813,000	1,711,830	729,477
715	横江遺跡その1	発掘	守山市・丸商	29,539,000	9,928,108	5,795,068
716	横江遺跡その2	発掘	守山市・GSユアサ	63,529,000	13,970,781	9,934,344
718	矢作川河床埋没林保存処理	整理	豊田市	4,970,000	2,303,297	1,080,872
720	福満遺跡	整理	彦根市	7,302,000	3,962,970	1,823,682
725	笠原南遺跡・狐山古墳	試掘	守山市土地開発公社	10,320,000	4,478,747	2,600,855
750	南滋賀遺跡	整理	大津市・高栄ホーム	3,524,000	2,004,959	833,473
	7		小計	122,997,000	38,360,692	22,797,771
	26		合計	495,686,000	205,710,814	104,295,933

## V. 保存活用事業

### 1. 保存処理業務

当協会が受託した整理調査事業において保存処理業務を行っている。

木製品はポリエチレングリコール含浸法や真空凍結乾燥法により上砥山遺跡・蜂屋遺跡・福満遺跡・南滋賀遺跡からそれぞれ出土した木製品の保存処理業務を行った。

また、愛知県豊田市・岡崎市境を流れる矢作川の河床から採取された埋没林 2 点（クリ・ムクノキ）について、保存処理作業（燻蒸、クリーニング、修復・復元）を行った。

### 2. 写真資料等の貸出および掲載許可等

書籍等への掲載のための写真資料等の貸出や掲載許可等の業務を行っている。

今年度は写真・イラスト資料の貸出は 8 件（掲載・転載を含む）であった。

## VI. 「県立安土城考古博物館」「県立琵琶湖文化館」および「県埋蔵文化財センター」の管理運営事業

### 「県立安土城考古博物館」

#### 1 展示事業

##### (1) 特別展

###### ① 令和5年度春季特別展「信長と家康一裏切る者・裏切らざる者一」

権謀術数のうすまく戦国の世。それを勝ち抜き、天下統一の一歩手前まで駒を進めた信長は、さぞかし敵・味方を問わず、人を欺いてきたと思われがちだが、信じた味方や家臣に裏切られることが多かった。

そんな中、どんな時も同盟者として信長の味方となった稀有な存在が、徳川家康である。天下静謐のため、都の安寧に腐心する信長にとって、東国への防壁となった家康は、頼もしい存在だったはずである。それは、信長の死後も続く。本展では、信長を取り巻く人間模様を「裏切り」をキーワードに紐解く。

展覧会期：令和5年4月29日（土）～6月4日（日） 33日間

入館者数：6,874人

関連講座（全2回）

第1回 5月14日（日）「裏切られ信長ーそして裏切らない家康ー」

金子拓氏（東京大学史料編纂所教授） 受講者 94人

第2回 5月28日（日）「松平信康・築山殿事件の真相」

柴裕之氏（東洋大学非常勤講師） 受講者 66人

###### ② 令和5年度秋季特別展「馬でひも解く近江の歴史」

国内でいち早く馬の利用が始まった近江において、人と馬との関係は、単に戦いの道具だけに留まらず、農耕や通信・交通路の整備、港湾都市の成り立ち、信仰など、近江の歴史や社会文化とも密接に結びついている。

本展では、人びとが馬とともに歩んだおよそ1600年の歴史で、馬が滋賀県の地域社会や文化の形成に果たした役割について考古資料を中心に紹介。

展覧会期：令和5年10月7日（土）～11月19日（日） 38日間

入館者数：3,865人

関連講座（全2回）

第1回 10月 8日（日）「東アジアから見た古代近江の馬文化」

諫早直人氏（京都府立大学准教授） 受講者 26人

第2回 10月 21日（土）「馬駆ける近江ー考古資料からみた近江の古代ー」

辻川哲朗（当協会） 受講者 31人

##### (2) 企画展

###### ① 第68回企画展「発掘された近江IIIー信長・光秀・秀吉・家康の城ー」

滋賀県には、天下人となる織田信長、明智（惟任）光秀、羽柴（豊臣）秀吉、徳川家康が自らの居城として、あるいは天下を治めるために築かせた城がある。これらの城は、その後日本各地に築かれる城に影響を及ぼしている。

本展では、近江に築かれた天下人の城の特徴や意義を、発掘調査で出土した資料や写真パネルで紹介。

展覧会期：令和5年7月22日（土）～9月18日（月・祝） 51日間

入館者数：9,482人

関連講座（全4回）

第1回 7月22日（土）「信長と安土城」

木戸雅寿氏（滋賀県）

受講者 71人

第2回 7月29日（土）「秀吉と水口岡山城」

小谷徳彦氏（甲賀市教育委員会）

受講者 62人

第3回 9月 9日（土）「光秀と坂本城」

西中久典氏（大津市市民部）

受講者 77人

第4回 9月16日（土）「家康と永原御殿」

福永清治氏（野洲市教育委員会）

受講者 55人

## ② 第69回企画展・琵琶湖文化館地域連携企画展

### 「近江の文化財を継ぐ—修理・複製・復元—」

長い時を経てきた文化財の多くは、もろく壊れやすい状態にあり、文化財の収集や保管を行う博物館は、それらを温湿度や光、化学物質の影響、虫などによる破損から守り、後世へと受け渡す使命がある。一方で、博物館が行う展覧会は、文化財を保管環境から移動させ、保存状態に少なからず負担をかける。保存の使命がありながら、なぜ、博物館は展覧会を行う必要があるのか。本展では、修理・複製・復元の3つの手法を中心に紹介し、文化財の保存における「もの」と「人」の関わりの重要性について展示。

展覧会期：令和6年2月10日（土）～4月7日（日） 50日間

入館者数：4,581人（3月31日現在）

関連講座（全2回）

第1回 3月 9日（土）「復元！紫香楽大仏の鋳造技術」

大道和人（当館）

受講者 22人

第2回 3月17日（日）「文化財修理で引き継ぐ心—近江の文化財修理を例に—」

坂田さとこ氏（坂田墨珠堂）

受講者 24人

ギャラリートーク：3月 9日（土）10時30分～、15時～ 参加者 32人

親子たいけん博物館：3月24日（日）「ミニ屏風をつくろう」 参加者 4人

## （3）特別陳列

最近の発掘調査成果などから注目されたトピックを取り上げ、常設展示等の展示ケースを使用して資料を紹介。

### ① 近江の遺跡発掘成果① 「蜂屋遺跡—法隆寺ゆかりの古代寺院—」

会期：令和5年6月6日（火）～7月20日（木）

内容： 法隆寺の莊園があったとされる栗東市（旧栗太郡）で近年に発見された蜂屋遺跡の古代寺院跡から出土した忍冬文单弁蓮華文軒丸瓦や法隆寺式軒丸瓦など、法隆寺との関連性を示す資料を展示。

### ② 「『安土・八幡山下町中継書』修理記念特別公開」

会期：令和5年10月21日（土）～11月19日（日）

内容：令和4年度に修理した捷書の披露に合せて両城下町の関連資料を展示。

### ③ 近江の遺跡発掘成果② 「3世紀の鞍ー稻部遺跡出土の矢入れ具ー」

会期：令和5年11月22日（水）～令和6年1月14日（日）

内容： 令和元年の発掘調査で出土した国内最古級、古墳時代前期の鞍を展示。

関連講座：12月9日（土）「3世紀の鞍 彦根市稻部遺跡出土の矢入れ具」

戸塚洋輔氏（彦根市観光文化戦略部） 受講者12人

### （4）近つ飛鳥博物館連携事業『でかける博物館 in 安土城考古博物館』

#### 「一須賀古墳群の馬具」

会期：令和5年10月21日（土）～11月26日（日）

内容： 大阪府立近つ飛鳥博物館が所蔵する一須賀古墳群出土品のなかから、杏葉や轡などを展示。

なお、近つ飛鳥博物館では10月28日（土）～12月3日（日）に「近江の製鉄遺跡」と題して、飛鳥時代の製鉄遺跡である瀬田丘陵生産遺跡群源内峠遺跡の出土資料を展示。

## 2 講座事業

### （1）博物館講座事業

#### ① 連続講座I（全3回）

県文化スポーツ部の北村圭弘氏を講師に迎え、『京極氏から多賀氏、そして浅井氏へー近江北郡の戦国史ー』と題して、戦国時代の北近江で繰り広げられた霸権争いについて解説。

第1回 6月18日（日）「京極氏の権力と近江北郡」 受講者42人

第2回 7月23日（日）「多賀氏の権力の位置」 受講者49人

第3回 8月27日（日）「浅井氏の権力と小谷城の構造」 受講者41人

#### ② 連続講座II（全5回）

当協会の職員を講師に、縄文時代から奈良時代の近江について、県内の発掘調査成果から解説。

第1回 11月11日（土）「縄文時代の葬墓制ー滋賀県の事例からー」  
中村健二（当協会） 受講者18人

第2回 11月19日（日）「古墳の動態からみた栗太郡の古墳時代」  
宮村誠二（当協会） 受講者18人

第3回 12月16日（土）「弥生時代の大型建物を考える」  
木下義信（当協会） 受講者20人

第4回 1月20日（土）「瓦が語る飛鳥時代ー蜂屋遺跡を中心にー」  
福井知樹（当協会） 受講者16人

第5回 2月17日（土）「聖武天皇の栗津頓宮を発見かー大津市膳所城下町遺跡の大型掘立柱建物ー」  
中村智孝（当協会） 受講者25人

### ③ 連続講座Ⅲ「北近江の戦国史を深掘りする！」(全3回)

長浜市長浜城歴史博物館元館長の太田浩司氏を講師に迎え、北近江の戦国時代に関する研究成果を解説。

第1回 1月13日（土）「京極氏は北近江の戦国史に如何に関わったか？」

受講者 62人

第2回 2月11日（日）「浅井氏と織田信長との死闘の実像は如何に？」

受講者 76人

第3回 3月10日（日）「羽柴秀吉は如何に北近江を統治したか？」受講者 76人

### （2）体験学習・ワークショップ

城郭探訪、考古学に関する体験学習、博物館に親しむ催しを開催。

・城郭探訪	①「安土城跡」	5月 3日（水・祝）	参加者 5人
	②「観音寺城跡と桑實寺」	5月 7日（日）	雨天中止
	③「安土城跡」	5月 21日（日）	参加者 17人
	④「安土城跡」	10月 22日（日）	参加者 9人
	⑤「観音寺城跡と桑實寺」	10月 29日（日）	参加者 9人
・親子写生大会	5月 3日（水・祝）	～5月 7日（日）	参加者 24人
	作品展示（エントランス・ホール）	6月 3日（土）～7月 2日（日）	
・勾玉を作ろう	第1回	8月 6日（日）	参加者 16人
	第2回	8月 26日（土）	参加者 15人
・子ども考古学教室		8月 20日（日）	参加者 14人
・お正月飾りを作ろう		12月 10日（日）	参加者 6人

### （3）その他の事業等

#### ① 京都新聞との特別展共同開催

春季と秋季の特別展を京都新聞と共同開催することで広報を強化し誘客を図った。

#### ② NHK大河ドラマ「どうする家康」等身大パネル巡回展の開催

エントランスホールでパネル展示し、大河ドラマとの相乗効果による誘客、来館者の満足度向上を図った。

会期：第1回 4月 29日（土・祝）～ 5月 31日（水）

第2回 7月 25日（火）～ 8月 31日（木）

第3回 11月 3日（金・祝）～12月 17日（日）

#### ③ 発掘調査速報展の開催

当協会が現地説明会を実施した遺跡について、出土品および写真パネルをエントランスホールで展示公開し、誘客、当協会の認知向上を図った。

第1回「御館前遺跡」 会期： 9月 5日（火）～10月 6日（金）

第2回「阿弥陀寺遺跡」 会期： 10月 12日（木）～11月 11日（土）

第3回「六地蔵遺跡」 会期： 11月 28日（火）～12月 27日（水）

#### ④ 岐阜県イベントへの出展

10月14日（土）・15日（日）に開催された大関ヶ原祭2023に出展し、当館をPRして誘客を図った。

#### ⑤ 滋賀・福井・岐阜の3県が連携したスタンプラリーの開催

11月18日（土）～3月24日（日）まで、当館・一乗谷朝倉氏遺跡博物館、岐阜関ヶ原古戦場記念館が連携して3館周遊ラリーを行い、誘客を図った。

### 3. 博学連携事業

#### （1）博物館実習生の受け入れ

日程：令和5年8月22日（火）～27日（日）までの6日間

実習生：9名（大谷大学1名、奈良大学1名、京都橘大学2名、京都産業大学1名、追手門学院大学1名、滋賀県立大学1名、京都美術工芸大学2名）

#### （2）滋賀県立大学のカリキュラム科目「博物館資料保存論」における実習受け入れ

日時：令和6年1月10日（水）9：30～16：30

受講生：29名

#### （3）学校活動支援

学校の来館学習における体験学習メニュー（火起し、土器に触れる、勾玉作り）を実施。

日 時	学校名	人 数	引 率	内 容
4月30日（日）	大阪公立大学	16人	6人	展示見学・解説
5月 1日（月）	武佐小学校6年生	35人	3人	展示見学・火起し
5月 10日（水）	桐原東小学校6年生	65人	6人	展示見学・火起し
5月 11日（木）	安土中学校1年生	124人	9人	展示見学
5月 13日（土）	京都橘大学	16人	一	展示見学
5月 16日（火）	老蘇小学校6年生	27人	2人	展示見学・火起し・土器に触れる
5月 25日（木）	滋賀大学	20人	2人	展示見学・講義
6月 3日（土）	京都橘大学	9人	一	展示見学・解説
6月 4日（日）	京都府立大学	11人	1人	展示見学・解説
6月 7日（水）	豊郷小学校6年生	36人	3人	展示見学・火起し
6月 10日（土）	京都橘大学	19人	1人	展示見学・講義
6月 14日（水）	玉川小学校6年生	86人	7人	展示見学
6月 17日（土）	京都橘大学	23人	1人	展示見学・解説
6月 23日（金）	八日市南小学校6年生	85人	5人	展示見学・火起し
8月 9日（水）	滋賀県立大学	24人	2人	展示見学

8月31日(木)	岐阜聖徳学園大学	6人	1人	展示見学
9月8日(金)	大滝小学校6年生	4人	3人	展示見学
10月11日(水)	愛知川東小学校6年生	22人	2人	展示見学
10月12日(木)	愛知川東小学校6年生	49人	4人	展示見学
10月25日(水)	坂本小学校6年生	77人	5人	展示見学・火起し
10月27日(金)	湖東第二小学校6年生	23人	3人	展示見学・土器に触れる
11月2日(木)	島小学校6年生	7人	2人	展示見学
11月2日(木)	箕作小学校6年生	81人	7人	展示見学・土器に触れる
11月7日(火)	中主小学校6年生	36人	2人	展示見学・火起し
11月11日(土)	東海中学校2年生	38人	2人	展示見学
11月28日(火)	中主小学校6年生	31人	2人	展示見学・火起し
11月29日(水)	笠縫小学校6年生	107人	7人	展示見学・火起し・土器に触れる
11月30日(木)	甲南第三小学校6年生	9人	1人	展示見学・火起し
12月6日(水)	中主小学校6年生	34人	2人	展示見学・火起し
1月10日(水)	滋賀県立大学	29人	4人	展示見学
1月18日(木)	八日市北小学校6年生	64人	4人	展示見学・火起し
	31校	1,213人	97人	

#### 4. 年間入館者数

区分	令和4年度(人)	令和5年度(人)
個人	17,344	17,364
団体※	10,219	22,178
総数	27,563	39,542
うち、高齢者・身障者等	6,052	6,046

(※欄は20人以上の団体料金適用の人数)

## 「県立琵琶湖文化館」

### 1. 施設の管理

#### (1) 施設設備の小修繕

日常的な管理を行うとともに、県の点検マニュアルに基づいた施設点検を実施し、結果を県に報告した。また、必要に応じて小修繕を行う等、適切な維持管理に努め、周辺の美化にも尽力した。

修繕箇所) 冷却槽配管、本館水草等流入抑止フェンス（鉄柵）、高压受電設備の機器更新等

#### (2) 各種法定点検の実施

施設設備について、業者委託による定期的な保守点検を実施した。

- ・建築基準法 12 条に基づく点検（建築設備・防火設備）
- ・消防法に基づく消防設備点検（機器点検・総合点検）
- ・電気事業法に基づく高压受電設備点検（保守点検・停電保守点検）
- ・フロン排出抑制法に基づく第 1 種特定製品点検（職員による簡易点検）

#### (3) 収蔵品の管理

収蔵品の管理については、県（学芸員）からの指示を受けて必要とされる業者の手配および支出行為等を行った。収蔵庫においては、年間を通じて文化財害虫や空中菌の生息状況のモニタリング、計画的な燻蒸を実施し、新規寄託文化財の密閉テント式燻蒸を行う等、適切な収蔵環境の維持に努めた。また、必要に応じて収蔵品の小修繕を行い、寄贈図書のデータ登録・整理等を行った。

収蔵品小修繕) 寄託品 1 件

## 2. 展覧会事業

### (1) 琵琶湖文化館地域連携企画展

県内の 4 地域と連携し展示公開を行う地域連携企画展を開催し、リーフレットやパネルを作成する等、開催支援を行ったほか、準備・開催にかかる業者の手配および支出行為等を行った。

#### ① 「近江八幡市・長光寺で新発見の経典を特別初公開！」

近江八幡市にある長光寺が購入した古経典〔「三弥底部論」巻中〕一巻が、鎌倉時代の弘安 4 年（1281）に当寺にあった一切経の写経所で書写された貴重な経典であったことが、琵琶湖文化館の調査で判明した。本展では、長光寺と琵琶湖文化館の連携企画により、この新発見の経典を寺内において特別に初公開した。

会 期 令和 5 年 4 月 1 日（土）～10 日（月） 10 日間

会 場 近江八幡市／補陀洛山 長光寺

主 催 滋賀県・琵琶湖文化館・補陀洛山 長光寺

入場者数 130人

関連事業 特別講演会 4月2日（日）

参加者80名

「近江国蒲生下郡長光寺の一切経について」

講師 井上優（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

#### ②「千年の秘仏と近江の情景」

琵琶湖文化館寄託品の中から湖南市の名刹正福寺の仏像を中心に、豊かな文化を育んできた滋賀の情景をあらわした作品を、滋賀県立美術館のコレクションとともに展示した。

会期 令和5年10月7日（土）～11月19日（日） 38日間

会場 滋賀県立美術館

主催 琵琶湖文化館・滋賀県立美術館

特別協力 正福寺・善水寺

入場者数 8,294人

関連事業 文化館&美術館 学芸員ギャラリートーク

10月18日（水） 参加者30名

#### ③「成菩提院 寺宝展」

多くの寺宝を有する米原市の古刹成菩提院では、毎年秋に琵琶湖文化館の寄託品も一時的に返却する寺宝公開が行われている。本年は特に、琵琶湖文化館地域連携企画展として開催し、徳川家康ほか話題の戦国武将に焦点を当てた寺宝や、寄託文化財の写真パネル等を展示した。

会期 令和5年11月3日（金・祝）～12日（日） 10日間

会場 米原市／成菩提院

主催 琵琶湖文化館・成菩提院

入場者数 427人

関連事業 講演会 11月3日（金・祝）

参加者50名

「成菩提院の歴史と文化」

講師 谷口徹氏（柏原宿歴史館館長）

「成菩提院の仏教美術」

講師 古川史隆（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

#### ④「近江の文化財を継ぐー修理・複製・復元ー」

安土城考古博物館と琵琶湖文化館の収蔵品から、修理・複製・復元の3つの手法を中心に紹介し、文化財の保存における「もの」と「人」の関わりの重要性について展覧した。

会期 令和6年2月10日（土）～4月7日（日） 50日間

会場 安土城考古博物館（近江八幡市）

主催 琵琶湖文化館・安土城考古博物館

入場者数 4,581人（3月31日現在）

関連事業 企画展関連講座 3月9日（土） 参加者22名  
「復元！紫香楽大仏の鋳造技術」  
講師 大道和人氏（安土城考古博物館）

企画展関連講座 3月17日（日） 参加者24名  
「文化財修理で引き継ぐ心 -近江の文化財修理を例に-」  
講師 坂田さとこ氏（株式会社坂田墨珠堂）

ギャラリートーク 3月9日（土） 参加者32名  
親子たいけん博物館「ミニ屏風をつくろう！」3月24日（日）  
参加者 4名

### 3. 普及啓発事業

#### （1）滋賀の文化財講座「花湖さんの打出のコヅチ」全6回+特別講座

滋賀の文化財にまつわる最新情報を県民に向けて積極的に発信する「滋賀の文化財講座」を、ネーミングライツパートナーに株式会社国華荘（おごと温泉：びわ湖花街道）の協力を得て開催。本年は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、募集人数を縮小し各回の申込みとする等、対策を講じて実施し、オンライン配信によるサテライト会場での受講も可能とした。

主 催 滋賀県文化スポーツ部文化財保護課・琵琶湖文化館  
後 援 滋賀県文化財保護連盟・公益社団法人びわこビジターズビューロー・  
当協会

座学メイン会場 コラボしが21（大津市打出浜2-1）3階大会議室

第1回 5月24日（水）

「杉本哲郎壁画「舍利供養」に秘められた師・春挙への想い」  
講師 井上 優（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

第2回 6月22日（木）

「海北友松の事績と檜図について」  
講師 古川史隆（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

第3回 8月30日（水）

「世界に広がる「近江の文化財」」  
講師 田澤 梓（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

第4回 9月28日（木）

「新県指定 弘誓寺本堂と近江の浄土宗建築」」  
講師 伊藤静香氏（滋賀県文化財保護課）

第5回 10月26日（木）

「秘仏 正福寺大日如来坐像と湖南・甲賀地域の仏像」  
講師 和澄浩介（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

第6回 【解説付鑑賞会】11月16日（木）

「千年の秘仏と近江の情景」展を楽しむ

講師 和澄浩介（滋賀県文化財保護課・琵琶湖文化館）

山口真有香氏（滋賀県立美術館）

特別講座 7月27日(木) ※開催はメイン会場のみ

「「世界の記憶」智証大師円珍関係文書の世界」

講師 福家俊彦氏（三井寺長吏）

＜講座参加人数＞

【主催】	定員	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	特別講座
メイン会場	(140)	77人	86人	92人	76人	102人	－	140人
解説付鑑賞会	(40)	－	－	－	－	－	40人	－

小計 613人

サテライト会場		定員	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
彦根市	稲枝地区公民館	(15)	7人	9人	9人	10人	9人
長浜市	曳山博物館 伝承スタジオ	(30)	3人	4人	1人	－	－
湖南市	共同福祉施設 サンライフ甲西	(20)	－	－	6人	10人	14人
高島市	市立新旭公民館	(20)	－	－	6人	－	－
東近江市	埋蔵文化財センター	(20)	－	－	－	12人	－
計			10人	13人	22人	32人	23人

小計 100人

〔合計 713人〕

## （2）研究紀要の発刊

学芸員の調査研究成果の発表および当該年度の活動実績報告（年報）として「研究紀要第40号」を発刊した。

## 4. 情報発信事業

### （1）ウェブサイトの充実

- ・琵琶湖文化館の活動や県内の文化財に関する情報等を紹介するコンテンツを随時更新し、県民サービスの向上を図った。
- ・「収蔵品紹介」や、収蔵品の他館への貸し出し状況がわかる「収蔵品公開情報」を積極的に発信することで、休館中の琵琶湖文化館の作品に親しめる機会となるよう努めた。
- ・新文化館建設に向けての機運醸成を図る県の取り組み等を紹介した。

## **(2) 埋蔵文化財センター等での情報発信**

ホームページの更新にあわせて屋外掲示板に情報を見やすく掲示し、近隣住民の方に活動をPRしたほか、埋蔵文化財センターにおいても印刷物を掲示するなど情報の発信に努めた。

## **(3) 報道機関への資料提供等**

報道関係機関等に対し、適宜情報提供を行った。

## **(4) 各種問い合わせへの対応・保存支援**

一般からの電話や来館等の問い合わせに対し、適切に対応した。

## 「県埋蔵文化財センター」

### 1. 埋蔵文化財の遺物および資料の収蔵・保管

#### (1) 出土遺物、資料の受け入れ

当協会が実施した整理調査で報告書が刊行された大野・普門南遺跡等の出土遺物、図面資料、写真資料を受入、収納した。収納資料は土器 63 箱、木製品 5 箱、金属器 1 箱の合計 69 箱である。図面資料はファイル 7 冊、写真資料はアルバム 31 冊とデジタルデーター 4 組である。

#### (2) 資料の貸出等

##### ①資料の貸出

博物館や資料館の展示等に資料の貸出を実施している。今年度は、28 件の貸出を実施した。

##### ②資料調査の受入

出土資料活用の一環として、学術研究等の目的のための資料調査の申し出を受け入れている。今年度は 32 件の個人・団体を受け入れた。

##### ③写真資料等の貸出および掲載許可等

書籍等への掲載のための写真・図面資料等の貸出や掲載許可等の業務を行っている。今年度は写真資料の貸出は 62 件 (掲載・転載・撮影等を含む) であった。

#### (3) 図書整理

##### ①図書資料の受入

県外等から発掘調査報告書、年報、紀要、一般図書など 1,084 冊の寄贈を受けた。受け入れ図書は登録番号を添付し、書庫・第 3 収蔵庫に保存した。また、書名、発行所、登録番号等のデーターを入力し保存し、資料の検索や在庫の問い合わせに対応した。

##### ②図書資料の閲覧

埋蔵文化財関係者や研究者、学生、一般にも書庫を開放し、図書資料の閲覧を行えるようにしている。今年度には 8 人の閲覧があった。

## 2. 展示事業

### (1) ロビー展示

1 階ロビーにおいて常設展示を行い、一般公開し、埋蔵文化財に対する知識の普及啓発に努めた。

#### ア. 「森と人」

滋賀県における縄文時代から古代にかけての森林と人・遺跡の関係につ

いて出土遺物と写真パネル、文字パネル等を用いて紹介を行った。また、収蔵品展示として相谷熊原遺跡の土偶（複製品）、小川原遺跡の土偶、入江内湖遺跡の丸木舟等の展示も行った。

#### イ. 「おうみの壺にはまるー壺・壺・つぼ・ツボ大集合-」

滋賀県における壺の歴史について出土遺物と写真パネル、文字パネル等を用いて紹介した。また、「土偶にはまる」として相谷熊原遺跡の土偶や県内から出土した土偶等の展示も行った。

### （2）JR湖西線大津京駅構内での文化財関連展示

JR 大津京駅構内の展示場で、埋蔵文化財保護の普及・啓発を目的とした展示を 4 回実施した。

- ① 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡【紫香楽宮跡】」  
国指定史跡紫香楽宮跡について遺物とパネルを展示（4 月～5 月）
- ② 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡【近江国庁跡】」  
国指定史跡近江国庁跡について遺物とパネルを展示（6 月～9 月）
- ③ 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡【大中の湖南遺跡】」  
国指定史跡大中の湖南遺跡について遺物とパネルを展示（10 月～1 月）
- ④ 「史跡でみる縄文時代から古代の遺跡【植遺跡】」  
県指定史跡植遺跡について遺物とパネルを展示（1 月～）

## 3. 普及啓発事業

### （1）収蔵品を活用した普及・啓発事業

今年度は新型コロナウィルス感染症の扱いが 5 類に引き下げられ、コロナ前の日常を取り戻しつつあったにもかかわらず、前年度に比べて県内小・中学校等の学校教育の一環として実施される出前授業は減少した。一方で、職場体験はコロナ前と同様な水準まで回復した。

こうした中、近江国庁跡等の現地を案内するとともに、出土品を使った出前講座等も行った。また、「みどりのつどい 2023」、「文化ゾーンフェスティバル」等のイベントで埋蔵文化財センターの一般公開等、文化財の普及に努めた。

普及事業は学校関係として出前授業 5 校、職場体験 7 校 8 回、その他、体験学習 4 回、イベント等 4 回を行った。普及事業の参加者総数は 1,274 人であった。

### （2）ホームページの活用

埋蔵文化財センター開催の「ロビー展示」、「大津京駅構内展示」等行事

を隨時紹介し、広報に努めた。また、各種申請用紙を掲載し業務の省力化に努めた。

### **(3) 執筆・編集関係**

#### **① 『埋もれた文化財の話 44』の編集**

ロビー展示の解説をかねて「近江の壺にはまる一壺・壺・つぼ・ツボ大集合一」をテーマに滋賀県における壺の歴史についてまとめ、執筆・編集した。

## **4. 施設の維持管理**

### **(1) 庁舎維持管理委託業務**

埋蔵文化財センターの施設の維持管理に関して、防災点検、水質点検、建物点検等 12 項目の定期点検業務を委託して実施した。その他、特別収蔵庫エアコン取替工事、冷却塔給水配管取替工事、ロビー階段手摺新設工事、第 1 収蔵庫給湯器取替工事、ロビー・廊下天井 LED 照明機器取替工事、機械室横舗装工事を実施した。

### **(2) 収蔵庫・収納品点検**

埋蔵文化財センター以外に出土遺物を収納している 3 か所の収蔵庫を管理している。月に 1 回の点検を行い、資料の収蔵状況、収納遺物の確認、収蔵庫の外壁や屋根等の損傷、雨漏り、害虫、施錠等の状態を確認した。早崎収蔵庫・大石収蔵庫については、防犯カメラの確認を行った。

また、出土遺物に関しては、3 ケ所の収蔵庫以外、近江風土記の丘第 1 ~ 第 3 収蔵庫の月に 1 回の資料の収蔵状況、収納遺物の点検を行った。また、早崎収蔵庫と大石収蔵庫は 5 月と 10 月に敷地内の除草、7 月と 1 月に消防点検を行った。

## **5. 施設の利用**

入館者総数は 3,873 人で、前年度 (4,706 人) より減少した。

## VII. 文化財保護資金貸付事業および文化財活用資金貸付事業

### (1) 貸付審査会

第1回 令和5年 7月27日 (木)

第2回 令和5年12月11日 (月)

### (2) 文化財保護資金貸付事業実績

貸付先	市町名	貸付金額 (円)	対象事業	文化財の名称
宗教法人徳源院 代表役員 山口 光秀	米原市	10,000,000	滋賀県指定文化財 徳源院三重塔保存修理事業	滋賀県指定文化財 徳源院三重塔
新町自治会 沢 滋雄	日野町	3,300,000	日野曳山祭 新町曳山 曳山装飾品および関連備品の 収蔵庫建設事業	滋賀県無形民俗文化財 日野曳山祭 新町曳山
三谷 恵一	彦根市	4,027,500	重要伝統的建造物群保存地区 彦根市河原町芹町地区 三谷家住宅主屋修理事業	重要伝統的建造物群保存地区 彦根市河原町芹町地区 三谷家住宅主屋
計		17,327,500		

### (3) 文化財活用資金貸付事業実績

なし

### (4) 総貸付件数 (累計)

- 文化財保護資金 令和6年3月末 367 件
- 文化財活用資金 令和6年3月末 2 件

### (5) 貸付残高

- 文化財保護資金 令和6年3月末 42,753,500 円
- 文化財活用資金 令和6年3月末 0 円